

フィールド言語学ワークショップ Toolbox ワークショップ受講生募集要項

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所(AA研)では、「フィールド言語学ワークショップ」として、下記の要領でテキスト分析ソフトウェア Toolbox のワークショップを行います。

Toolbox^{*1}は、フィールドワークで得られたテキストの形態素分析と辞書の管理に特に威力を発揮するソフトウェアです。今回のワークショップでは、初心者を対象にソフトウェアの導入(インストールから、実際に辞書を作りながらテキストを分析するまで)をカバーします。また、IPAの入力を容易にする多言語入力用インプットメソッド AAA+^{*2}を紹介します。

受講希望者は下記により申し込んでください。

なお、このワークショップは、文部科学省特別経費による「急速に失われつつある言語多様性に関する国際研究連携体制の構築(言語ダイナミクス科学研究プロジェクト、略称:LingDy)」事業のひとつとして開催されるものです。

^{*1} Toolboxの詳細は、<http://www.sil.org/computing/toolbox/> をご覧下さい。

^{*2} AAA+の詳細は、http://www.aa.tufs.ac.jp/~kmach/gicas/ASTI/AAA/info/info_j.htm をご覧下さい。

記

1. 開催日時：2010年7月11日(日) 10:30~17:00
2. 開催場所：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所(AA研)
3階マルチメディア会議室(304室)
3. プログラム(予定)：
講師：中山俊秀(AA研)，渡辺己(AA研)，長崎郁(AA研)
(1) 10:30--11:30 Toolbox とは
(2) 11:30--12:30 実習の準備(ソフトウェアのインストール)
(3) 13:30--14:30 実習1(言語の設定，プロジェクトの設定，テキストと辞書の連動，IPAの入力法について)
(4) 14:45--17:00 実習2(グループワーク)

注意：

- 1) ノートパソコン(Windows または、Windows 環境の入った Mac)をできるだけ持参してください。ノートパソコンの貸出を希望する方は参加応募の際に申し出てください(数に限りがあります)。

2) グループワークでは、各自が Toolbox を使って自分の専攻言語のテキストを分析することを目指しますので、事前にテキストをエディターやワープロなどで打ち込んだものを用意しておいてください。テキストの長さは問いません。

4. 応募資格：

記述言語学分野の学生・研究者（原則として修士課程在籍以上）を原則とします。

5. 応募方法：

次の情報を下記応募先に電子メールにてお送りください。電子メールの件名に必ず「フィールド言語学 WS : Toolbox WS 参加希望」とお書きください。

- ① 氏名（ふりがな）
- ② 所属
- ③ 連絡先（電話番号およびメールアドレス）
- ④ 専攻言語および持っているテキスト・データの概略（「xxx 語のテキスト 100 行」など）
- ⑤ Toolbox をこれまでに使ったことがあるか否か
- ⑥ ノートパソコンの貸与希望の有無について

6. 申込み先：

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 共同研究拠点係
kenkyu-zenkoku[at]tufs.ac.jp（[at]を@に変えて送信ください）

7. 募集人数：

10 名程度

8. 参加料：

無料

9. 応募締め切り：

2010 年 6 月 25 日（金）

10. 選考方法：

先着順を原則とします。

11. 選考決定と通知：

受講の可否は、6 月中に本人あて電子メールにより通知します。

12. 問い合わせ先：

本ワークショップに関するお問い合わせは、AA 研言語ダイナミクス科学研究プロジェクト事務局（lingdy-office[at]aacore.net（[at]を@に変えて送信ください））まで、電子メールにてお問い合わせください。